

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 25 年 9 月 26 日 (2013.9.26)

【公開番号】特開 2013-102511 (P2013-102511A)

【公開日】平成 25 年 5 月 23 日 (2013.5.23)

【年通号数】公開・登録公報 2013-026

【出願番号】特願 2013-7994 (P2013-7994)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/76 (2006.01)

H 0 4 N 5/445 (2011.01)

H 0 4 N 7/173 (2011.01)

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

G 1 1 B 20/10 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/76 Z

H 0 4 N 5/445 Z

H 0 4 N 7/173 6 3 0

H 0 4 N 5/91 P

G 1 1 B 20/10 D

G 1 1 B 20/10 F

G 1 1 B 20/10 H

G 1 1 B 20/10 3 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 8 月 7 日 (2013.8.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

送信されたデジタルコンテンツを受信するデジタルコンテンツ受信装置において、  
前記デジタルコンテンツには、記録の予約のときに利用する第 1 のコピー制御情報と、  
記録のときに利用する第 2 のコピー制御情報とコピー制御モード情報と、出力保護情報と  
が付随することができ、

前記第 1 のコピー制御情報と前記第 2 のコピー制御情報とは、受信した前記デジタルコ  
ンテンツのコピーにおいて、少なくとも一世代コピー可の状態と、制約条件なしにコピー  
可の状態とを示す情報であり、

前記コピー制御モード情報は、前記第 2 のコピー制御情報が一世代コピー可であるとき  
に、受信した前記デジタルコンテンツが個数制限コピー可のコンテンツであるか否かを示  
す情報であり、

前記出力保護情報は、前記第 2 のコピー制御情報が制約条件なしにコピー可であるとき  
に、前記デジタルコンテンツの出力時の保護をおこなうか否かを示す情報であり、

送信された前記デジタルコンテンツを受信する受信部と、

受信した前記デジタルコンテンツを内蔵の記録媒体に記録するための予約を行う予約部  
と、

受信した前記デジタルコンテンツを前記内蔵の記録媒体に記録する記録部と、

前記受信部と前記予約部と前記記録部とを制御する制御部とを備え、

前記制御部の制御状態には、

前記第 1 のコピー制御情報に従って、前記デジタルコンテンツを前記内蔵の記録媒体に記録するための予約を行う第 1 の状態と、

前記第 2 のコピー制御情報が一世代コピー可で、かつ、前記コピー制御モード情報が個数制限コピー可のコンテンツであることを示しているときに、受信した前記デジタルコンテンツを前記内蔵の記録媒体に暗号化して記録し、記録した前記デジタルコンテンツからの生成可能なデジタルコピー数が所定数以内となるように管理する第 2 の状態と、

前記第 2 のコピー制御情報が一世代コピー可で、かつ、前記コピー制御モード情報が個数制限コピー可のコンテンツでないことを示しているときに、受信した前記デジタルコンテンツを前記内蔵の記録媒体に再コピー禁止として暗号化して記録する第 3 の状態と、

前記第 2 のコピー制御情報が制約条件なしにコピー可で、かつ、前記出力保護情報が出力時に保護をおこなうことを示しているときに、受信した前記デジタルコンテンツを前記内蔵の記録媒体に制約条件なしにコピー可として暗号化して記録する第 4 の状態と、

前記第 2 のコピー制御情報が制約条件なしにコピー可で、かつ、前記出力保護情報が出力時に保護をおこなわないことを示しているときに、受信した前記デジタルコンテンツを前記内蔵の記録媒体に制約条件なしにコピー可として暗号化しないで記録する第 5 の状態と

があることを特徴とするデジタルコンテンツ受信装置。

#### 【請求項 2】

送信されたデジタルコンテンツを受信するデジタルコンテンツ受信方法において、

前記デジタルコンテンツには、記録の予約のときに利用する第 1 のコピー制御情報と、記録のときに利用する第 2 のコピー制御情報とコピー制御モード情報と、出力保護情報とが付随することができ、

前記第 1 のコピー制御情報と前記第 2 のコピー制御情報とは、受信した前記デジタルコンテンツのコピーにおいて、少なくとも一世代コピー可の状態と、制約条件なしにコピー可の状態とを示す情報であり、

前記コピー制御モード情報は、前記第 2 のコピー制御情報が一世代コピー可であるときに、受信した前記デジタルコンテンツが個数制限コピー可のコンテンツであるか否かを示す情報であり、

前記出力保護情報は、前記第 2 のコピー制御情報が制約条件なしにコピー可であるときに、前記デジタルコンテンツの出力時の保護をおこなうか否かを示す情報であり、

送信された前記デジタルコンテンツを受信する受信ステップと、

受信した前記デジタルコンテンツを内蔵の記録媒体に記録するための予約を行う予約ステップと、

受信した前記デジタルコンテンツを前記内蔵の記録媒体に記録する記録ステップとを備え、

前記予約ステップには、

前記第 1 のコピー制御情報に従って、前記デジタルコンテンツを前記内蔵の記録媒体に記録するための予約を行う第 1 の状態があり、

前記記録ステップには、

前記第 2 のコピー制御情報が一世代コピー可で、かつ、前記コピー制御モード情報が個数制限コピー可のコンテンツであることを示しているときに、受信した前記デジタルコンテンツを前記内蔵の記録媒体に暗号化して記録し、記録した前記デジタルコンテンツからの生成可能なデジタルコピー数が所定数以内となるように管理する第 2 の状態と、

前記第 2 のコピー制御情報が一世代コピー可で、かつ、前記コピー制御モード情報が個数制限コピー可のコンテンツでないことを示しているときに、受信した前記デジタルコンテンツを前記内蔵の記録媒体に再コピー禁止として暗号化して記録する第 3 の状態と、

前記第 2 のコピー制御情報が制約条件なしにコピー可で、かつ、前記出力保護情報が出力時に保護をおこなうことを示しているときに、受信した前記デジタルコンテンツを前記内蔵の記録媒体に制約条件なしにコピー可として暗号化して記録する第 4 の状態と、

前記第 2 のコピー制御情報が制約条件なしにコピー可で、かつ、前記出力保護情報が出力時に保護をおこなわないことを示しているときに、受信した前記デジタルコンテンツを前記内蔵の記録媒体に制約条件なしにコピー可として暗号化しないで記録する第 5 の状態と

があることを特徴とするデジタルコンテンツ受信方法。